

令和 9 年度採用 山梨県公立学校教員選考検査

中学校（美術）問題

「始め」という合図があるまで、このページ以外のところを見てはいけません。

注 意

- 1 この問題は8問5ページで、時間は60分です。
- 2 解答用紙は、別紙で配布します。「始め」の合図で始めてください。
- 3 解答は、それぞれの問題の指示に従って解答用紙に記入してください。
- 4 「やめ」の合図があったら、すぐやめて係の指示に従ってください。
- 5 解答用紙を持ち出してはいけません。

中学校 美術

1

次の(1)～(3)に答えよ。

- (1) 次は、中学校学習指導要領解説「美術編」の「教科の目標と学年の目標及び内容構成等の関連」の一部である。①、②にあてはまることばをそれぞれ記せ。なお、同じ番号には同じことばが入るものとする。

領域等		項目	目標との関連
領域	A表現	(1) (①) に関する資質・能力	「思考力、判断力、表現力等」
		(2) 技能に関する資質・能力	「技能」
	B (②)	(1) (②) に関する資質・能力	「思考力、判断力、表現力等」

- (2) 次は、中学校学習指導要領「美術」「第3 指導計画の作成と内容の取扱い」の一部である。③、④にあてはまることばを、次のア～カからそれぞれ一つ選び、記号で記せ。なお、②には、(1) ②と同じことばが入るものとする。

2(6) 各学年の「B (②)」の題材については、国内外の児童生徒の作品、我が国を含む (③) の文化遺産についても取り上げるとともに、美術館や (④) 等と連携を図ったり、それらの施設や文化財などを積極的に活用したりするようにすること。

ア. 島国

イ. アジア

ウ. 世界

エ. 文学館

オ. 図書館

カ. 博物館

- (3) 生徒が授業で制作した絵画作品を展示したところ、全体的に作品の傾向が似ていることに気づき、自身の指導について見つめ直す必要があると感じた。今後、授業を改善していくために、具体的にどのような工夫が考えられるか、簡潔に二つ記せ。

2

次の作品A～Dについて、(1)～(3)に答えよ。

著作者の権利保護のため
掲載を省略します

(1) 作品A, Bの作者名を, 次のア〜カからそれぞれ一つ選び, 記号で記せ。

- | | |
|--------------------|-----------------|
| ア. ミケランジェロ・ブオナローティ | イ. オーギュスト・ロダン |
| ウ. アルベルト・ジャコメッティ | エ. ジャコモ・マンズー |
| オ. アレキサンダー・アーキペンコ | カ. ウンベルト・ボッチョーニ |

(2) 作品Cは, オシップ・ザッキンの「破壊された都市」である。この作品の作者が, 強く影響を受けた考え方を, 次のア〜エから一つ選び, 記号で記せ。

- | | |
|------------|-------------|
| ア. キュビズム | イ. シュルレアリスム |
| ウ. フォーヴィズム | エ. マニエリスム |

(3) 次は, 作品Dの木内克「猫」のキャプションである。この作品は, どのような手法で制作されたか, ①にあてはまることばをカタカナ5字で記せ。

猫 (①) 高さ22cm 1965年

3 次の(1)〜(4)に答えよ。

(1) 右の染め物は, どのような方法で染めたものか, 次のア〜エから一つ選び, 記号で記せ。

- | | |
|--------------------------------|----------|
| ア. 型染め | イ. 絞り染め |
| ウ. 臈纈染め
<small>ろうけつ</small> | エ. 手描き友禅 |

著作者の権利保護のため
掲載を省略します

(2) 次は, 藍染めに関する文である。①にあてはまることばを, 下のア〜エから一つ選び, 記号で記せ。なお, 同じ番号には同じことばが入るものとする。

「藍のふるさと (①)」: 2019年, 日本遺産に認定された。「(①)の北方」と呼ばれる地域は, 藍染料の日本一の産地である。

- | | | | |
|-------|-------|-------|--------|
| ア. 阿波 | イ. 加賀 | ウ. 弓浜 | エ. 久留米 |
|-------|-------|-------|--------|

(3) 江戸時代, 町人たちの手によって, 茶色や鼠色ねずみに似た多様な色の着物がつくり出された。これらの色は, 「四十八茶百鼠しじゅうはっचाひゃくねずみ」と呼ばれる。これらの多様な色が生まれたきっかけは何か, 次のア〜エから一つ選び, 記号で記せ。

- | | |
|----------------------------------|---------------------------------|
| ア. 新たな染料が発明された | イ. 多くの町人が裕福になった |
| ウ. 贅沢 <small>ぜいたく</small> が禁止された | エ. 鼠小僧 <small>ねずみ</small> が登場した |

(4) 染料と顔料について, それぞれ簡潔に説明せよ。

4

次の(1)～(5)に答えよ。

- (1) 右は、アルフォンス・ミュシャによる鉄道会社の広告ポスターである。この作品中に見られる、鉄道を連想させる工夫について、具体的に説明せよ。

著作者の権利保護のため
掲載を省略します

- (2) 右は、栗津潔^{あわづきよし}のポスターである。次の①にあてはまることばをカタカナ4字で記せ。

「鳥たち」：1983年に始まったポスタープロジェクト
「(①)・アピールズ」の作品。

著作者の権利保護のため
掲載を省略します

※出題の都合上、作品の一部を加工しています。

- (3) 右は、山梨県内の小学校の児童たちが平和への祈りを込めて描き上げた作品である。このような、ピカソが制作したゲルニカと同程度のサイズのキャンバスに、子供たちが平和の絵を描くプロジェクトを何というか、記せ。

著作者の権利保護のため
掲載を省略します

- (4) 屋外、店頭、公共空間、交通機関などの場所で、ディスプレイなどの電子的な表示機器を使って情報を発信するメディアを総称して何というか、記せ。

- (5) お店の魅力を伝えるための「のぼり旗」をデザインする題材に取り組んでいる。ある生徒は、右のようなAとBを見比べ、「どちらの書体を選ぶかによって、伝わるお店のイメージが変わるのではないか」と述べている。

AとBにおける、書体の形の特徴と、そこからどのようなイメージが生まれるか、それぞれ記せ。



5

次の（１）～（３）に答えよ。

- （１） 右の狩野探幽の「雲龍図」に魅了された生徒から「どこに行けば、この天井画を見ることができるか」と質問を受けた。該当する寺院を次のア～エから一つ選び、記号で記せ。

ア. 妙心寺 イ. 天龍寺 ウ. 建仁寺 エ. 西本願寺

著作者の権利保護のため
掲載を省略します

- （２） 次のア～ウは、作者名と題名、作品である。制作された順番に並び替えよ。

著作者の権利保護のため
掲載を省略します

- （３） 破墨法と積墨法について、それぞれ簡潔に説明せよ。

6

次の（１）～（３）に答えよ。

- （１） 岡本太郎の「太陽の塔」は、「万博記念公園」で保存・公開されている。このような公共の空間に設置された芸術作品を何というか、カタカナで記せ。

- （２） 次のア～エは、博覧会のマスコットキャラクターである。このうち、「自然の叡智」をテーマとして開催された博覧会のマスコットキャラクターを、次のア～エから一つ選び、記号で記せ。

著作者の権利保護のため
掲載を省略します

- （３） 右の写真は、世界最大の木造建築物として、ギネス世界記録に認定された、大阪・関西万博の「Grand Ring(大屋根リング)」である。この建築の作者を次のア～エから一つ選び、記号で記せ。

ア. 坂 茂 イ. 隈 研吾 ウ. 丹下健三 エ. 藤本壮介

著作者の権利保護のため
掲載を省略します

7

次の（１）～（３）に答えよ。

- （１） 右の写真は、ル・コルビュジェがデザインした世界文化遺産に指定されている美術館である。この美術館名を次のア～エから一つ選び、記号で記せ。

ア. 北九州市立美術館

イ. 山梨県立美術館

ウ. 国立西洋美術館

エ. エストニア国立美術館

著作者の権利保護のため
掲載を省略します

- （２） 次の作品Aは、ヨハネス・フェルメールの「窓辺で手紙を読む女」、作品Bは、興福寺の「阿修羅立像」である。生徒から「これらの作品について調べていたら、よく似ているけれど、異なる部分がある写真A'、B'を見付けた。これらの写真について、詳しく知りたい。」という相談を受けた。写真A'、B'について、それぞれ簡潔に説明せよ。

著作者の権利保護のため
掲載を省略します

- （３） 美術館では、様々な方法で作品を鑑賞することができるように工夫している。右の写真は、山梨県立美術館に所蔵されているジャン・フランソワ・ミレー「種をまく人」のレリーフである。この作品は、どのような方法で鑑賞されることを想定して制作されたか、記せ。

著作者の権利保護のため
掲載を省略します

8

美術館が作成したアートカードセットを活用した美術科の授業を考えることとする。題材名、目標などを提示し、美術科で育む資質・能力を意識した工夫のある授業の例を、図や言葉等で分かりやすく解説せよ。なお、今回設定する題材時数は1時間とする。

※右の写真は、山梨県立美術館の「みるえ(アートカードセット)」であるが、必ずしも山梨県立美術館のアートカードに限定しない。

著作者の権利保護のため
掲載を省略します

- （採点基準） ①目標の設定……………美術科における資質・能力を育成する目標になっているか。
②分かりやすさ……………生徒に伝えたいことが分かりやすく表されているか。
③興味をもたせる工夫…生徒が興味をもてるような工夫をしているか。
④解答欄の使い方……………与えられた解答欄を有効に活用しているか。